

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

Bright Valueの実現。記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューション提供で、情報社会のフェアネスを実現する。

AI創薬成約件数
7件

② 中長期の経営戦略

1. AI創薬の共創拡充

DDAIF活用で複数製薬企業と共創プロジェクト推進。最適なエコシステム構築で創薬生産性最大化・開発期間短縮を実現。

3. コンプライアンス監査AI化

KIBIT EyeやKIBIT Knowledge Probeでコンプライアンス監査ソリューション提供。大手顧客への取引拡大でリカーリング収益拡大。

2. AI医療機器の事業化推進

塩野義製薬との戦略的業務提携で会話型認知機能検査AIプログラム医療機器SDS-881の製造販売承認・社会実装。マイルストーンフィー・ロイヤリティフィー獲得。

4. 経済安全保障対応強化

KIBIT Seizu Analysisでサプライチェーン解析・株主支配ネットワーク分析提供。企業内経済安全保障室設置コンサルティングでリスク対応支援。

③ 対処すべき課題

① 創薬課題への対応

- ・ 標的分子枯渇・適応症探索が日本創薬の課題。未報告の標的分子抽出で対応。
- ・ 新規標的分子・適応症同時探索で成功確率高いプロジェクト集中化実現。
- ・ 技術連携エコシステム構築で低コスト・短期間創薬活動実現。

② リスク管理の高度化ニーズ

- ・ コンプライアンス監査データ量・領域拡大でAI監査ソリューション導入ニーズ増加。
- ・ サプライチェーン・制裁リスク可視化、重要技術流出防止が喫緊課題。
- ・ 包括的リスク定義・運用体制整備できた組織が限定的。

③ 製造業DX推進の障壁

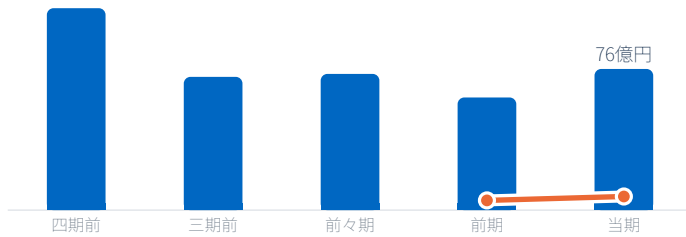
- ・ 業務データが部門ごとに分散・非構造化されたまま蓄積。
- ・ システム間連携不十分でDX推進が困難。
- ・ 生産年齢人口減少で先進技術活用による生産革新が必須。

面接で使えるポイント

- ・ DDAIF活用で共創プロジェクト7件成約達成。KPI3件を大幅上回る実績がライフサイエンスAI事業の成長を示現。
- ・ 塩野義製薬との戦略的業務提携でSDS-881医療機器開発を推進。世界初の自然言語処理AI医療機器化で社会実装目指す。
- ・ 2029年3月期中期経営計画ステージ4達成へライフサイエンスAI事業を中核化。

証券コード 2158

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
76億円営業利益率
9.7%財務健康度
46点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 46.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
906万円

サービス業内 36位/524社

平均年齢
43.8歳

サービス業内 92位/527社

平均勤続
4.1年

サービス業内 382位/527社

女性管理職
9.4%

サービス業内 290位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 16位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

